

知っておきたい二つのこと

軽自動車の廃車 すぐ市民課へ 取得・所有権の移転 届けないとなりの持ち主が迷惑

軽自動車を廃車や新規取得、または所有権を移転したという人で、市民課窓口に届け出るのを忘れていた人、転入や退職した人で、まだ国民健康保険に加入していない人はありませんか。もしありましたら、いますぐ市民課へ届けてください。

軽自動車税という車両とは、原動機付き自転車(一二五cc以下)、二輪の小型自動車(二五〇cc以上)、自動二輪車(二五〇cc未満)、軽自動車(三六〇cc未満)、ガゼントラクターなどのことをいいます。

このうち、市民課窓口へ届け出るものは、原動機付き自転車(一二五cc以下)とガゼントラクターです。

市民課へ届け出るもののは、か、すべて新潟市出来島の「新潟県陸運事務所」へ届け出てください。

届けなければならぬ場合は、①いまだに乗っていた車を廃車した②商店や友だちなどから買った、人から譲り受け

たというように所有権を移転したり、職場保険をやめたりしたときです。

もし届けを忘れていたと、つぎのようなこととなります。

○廃車の届け出を忘れた場合、実際に乗っていないにもかかわらず、課税されます。

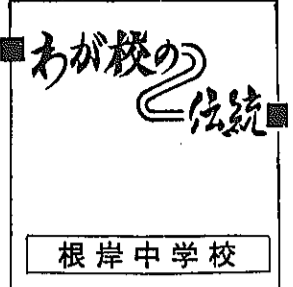
○所有権移転の届けを忘れた場合、前の持ち主に課税され、迷惑をかけることとなります。

入社、退職、転入、転出 十日以内に保健課へ 国民健康保険は、職場保険の加入者や、生活保護を受けている人を除いた場合は、白根市に住んでいる人すべてが本人の意志にかかわらず、加入しなければならぬ制度です。ですから、市外から転入



できたら姉妹都市も 米フロリダ州の牧師が訪問

米フロリダ州のオーランド市から当市のルーテル教会を訪問して来たヘンリー・エブラム牧師(写真中央)は、七月十七日、市役所と警察署を訪れ、吉沢市長と梅沢警察署長にオーランド市のカール・T・ラングフォード市長とR.J. チューニング同市警察署長のメッセージを手渡しました。同牧師は「日本の信者と交歓したい」と数年を願っていたことが実現することになり、訪日を聞いたオーランド市の市長や警察署長は「ぜひ白根のみならず、メッセージを手渡して欲しい」と、託したものです。同牧師は、吉沢市長との話し合いの中で「できればこれを機会に将来姉妹都市の締結も」と語っていました。



根岸中学校

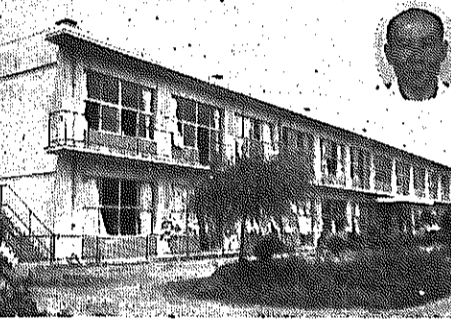
三十九年の新潟地震で、校舎倒壊し、この校舎は、いまでは鉄筋二階建ての校舎に生まれ変わり、放送施設では、県内でも指おりの学校として知られています。

放送施設は抜群

四十年前の放送施設は、四十万円をかけていまの校舎が完成し、同年七月二十九日に完成した。同年七月二十九日に完成した。同年七月二十九日に完成した。

同校は、昭和二十二年に根岸村立根岸中学校として創立し、その当時は、高井小学校と松橋小学校に分けて授業を行なっていました。

同校の施設でとくにすぐれているのは、放送施設が整っていること。各教室にはテレビが一台ずつはいており、英語、社会、理科の三科目は、毎週一時間テレビ放送



根岸中学校

8月15、16、17日 白根小で民謡大会 八月十五日(木)、十六日(金)、十七日(土)の三日間、白根小学校グラウンドで「民謡大会」が開かれます。

発明くふう品を募集 県では、県など四団体の主催で毎年行なっている「県発明工夫展覧会と同模範展覧会」の出品者、つぎのような方法で募集しています。

全国青年大会に70人を推せん 八月二十四日、二十五日の二日間、柏崎市で開かれる「全国青年大会県予選会」に出場する選手を選考する会が、七月十七日開き、つぎのような選手を推せんすることに決まりました。

おわび 先月号の記事の中で「郵便物の事故は〇一〇一」というものがありましたが、この「〇一〇一」は電話番号ではなく、郵便物の番号です。

調査の上善処 風合戦のときの露店の出店場所についてお答えします。東西のどちら側に出るかについては、別に約束などはありませんが、何十年の慣習から、出店業者からの申し出によることからの露店は主として午後からの営業であるため夕日を店にうけることは、まことに困るというので、今まで西側のみを使用してきました。地元から、このような意見がますます多くなり、調査のうえ露店市場運営委員会にはかつて善処したいと思っています。(商工課)

図書館だより 袋の図書館実施 親子が共に読書 市立図書館では、新津市立図書館の協力を得て、市内三小学校に袋の図書館「家庭文庫」を実施、好評を呼んでいます。

新飯田読書クラブ発足 近く白根おあさん読書会も誕生 七月五日、市民館新飯田分館のきも入りで、新しく飯田読書クラブ(代表||村文字子)が結成されました。

袋の図書館実施 親子が共に読書 市立図書館では、新津市立図書館の協力を得て、市内三小学校に袋の図書館「家庭文庫」を実施、好評を呼んでいます。家庭文庫の実施校は、新飯田小(五年生)、戸石小(五年生)、松橋小(四年生)の三学級で、ビニール袋の中には親子の読む本が二冊はいており、一年間で十二袋はいて四冊が家庭にとどけられ、十日間利用できる仕組みです。ビニール袋には、①目で見える図書、②子供の学習のお友だち、③親は新しい教育がわかるなど、編成されています。また家庭には、母と子の心の記録(読書ノート)や、一年間にまわってくる本の目録が配付され、つぎにくる本の話題が出るほど楽しんでいます。家庭で、読み終わると子供たちの手によって学校に持ちよられ、つぎの人にわたされ家庭にとどけられます。家庭文庫の開設で、子供たちはほくのおあさんも勉強をはじめたと、学習意欲を向上、おあさんたちも、子どもたちに「もう読み終えた」と聞かれるとあっと一瞬懸命に読書。夕食のひととき、親と子がしみりと読書の話がでると、新しい試みの袋の図書館「家庭文庫」も好評です。市内では、白根読書クラブ、大郷読書クラブと、三つの読書クラブができたほか、近く白根おあさん読書会(代表||根岸房子)もできるなど、年々高まるおあさんたちの読書熱に市立図書館も大ハッスル。是非立派な読書クラブに育つよう、暑さも忘れての力の入れよう。活発な活動に期待がよせられています。